



第20回 英文学シンポジウム へのお誘い

2025年11月8日(土)
大東文化大学
1号館1階10102教室
にて開催

英文学シンポジウムとは？？

本学大学院の英文学専攻の院生が
英米文学や言語学において、
それぞれが研究している作品や分野について
の研究発表を行います。

学部生にとっても、今後の学生生活でどの分野
の研究に触れるかを方向付けたり、4年次の卒
業論文での題材を決めるためのきっかけにな
るかもしれません。



今年度は大東文化大学 板橋キャンパスにて開催予定！

日時:2025年11月8日(土)

場所:大東文化大学

板橋キャンパス

1号館1階10102教室

参加申し込みはこちらから！



<https://forms.gle/mfiuf8awi5gy79Uq6>

研究発表題材—アメリカ文化—

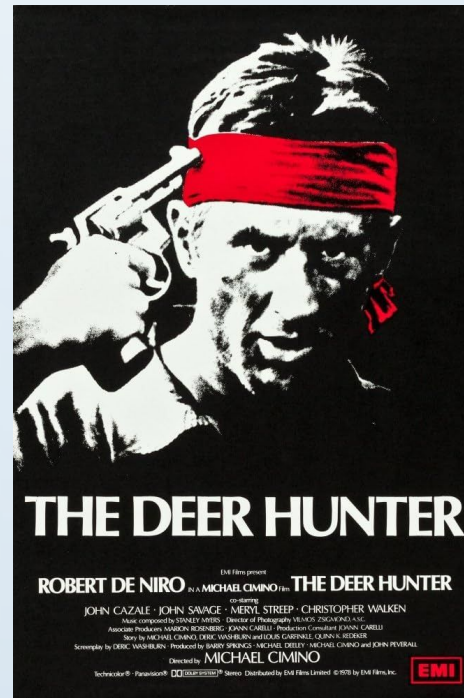
ベトナム戦争を題材にした映画作品

1964年にアメリカがベトナムへの介入を本格化した直後から、多くの戦争に関わる映画作品が制作されました。

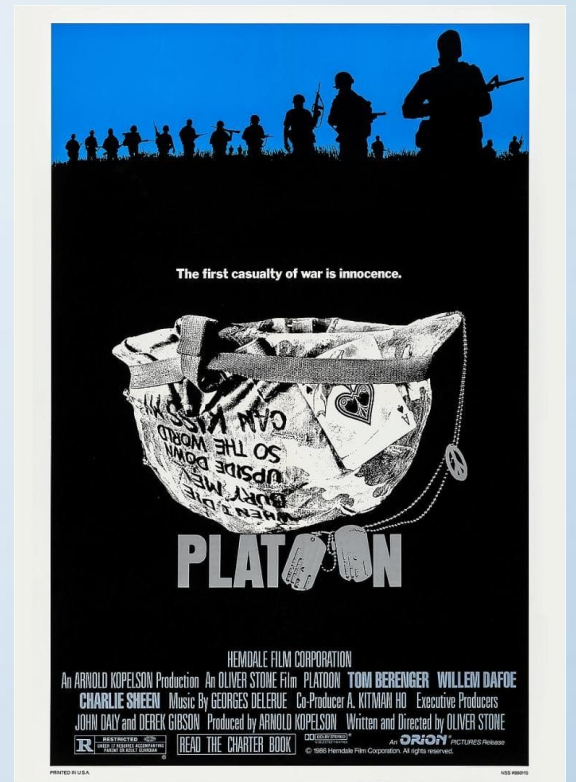
今回は様々な作品を比較しながら発表を行います。



Taxi Driver (1976)



The Deer Hunter (1978)



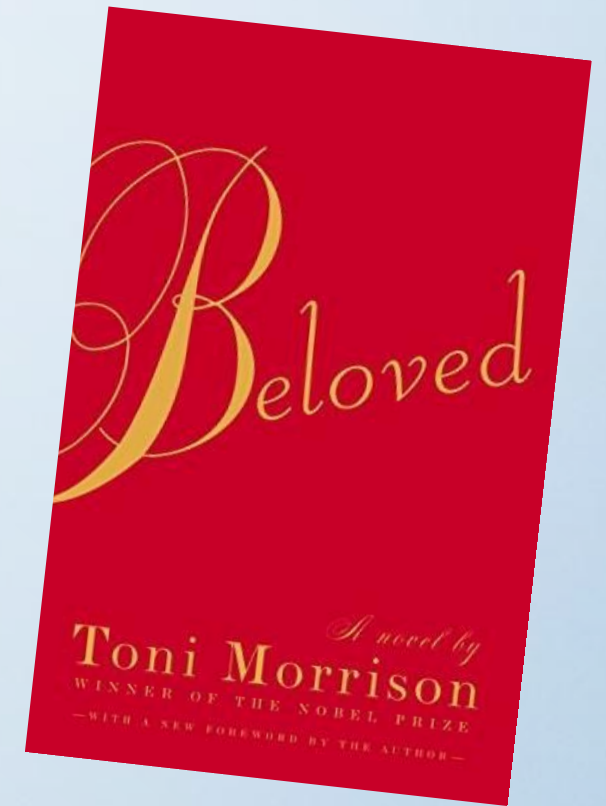
Platoon(1986)

研究発表題材—アメリカ文学—

Toni Morrison “*Beloved*”

母親Setheが、奴隷制の悲劇から子供を守るために
取った「子殺し」という絶望的な決断を描く物語。

奴隷制の残酷さとその深い影響を、Morrisonが鮮烈に
描き出した名作。



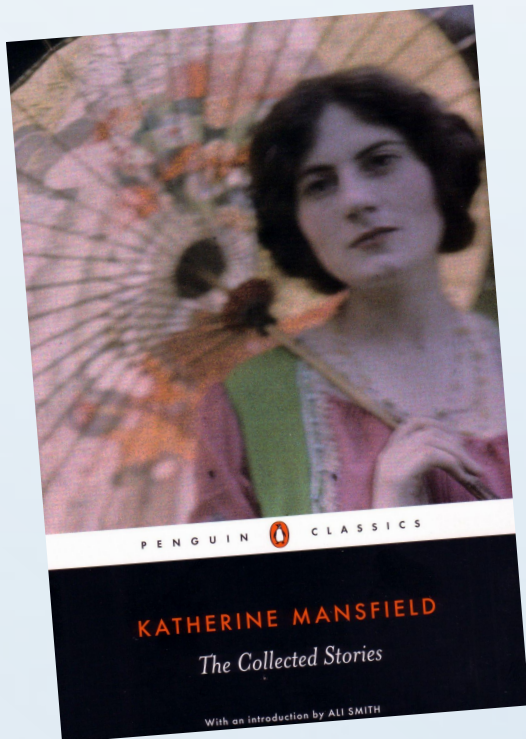
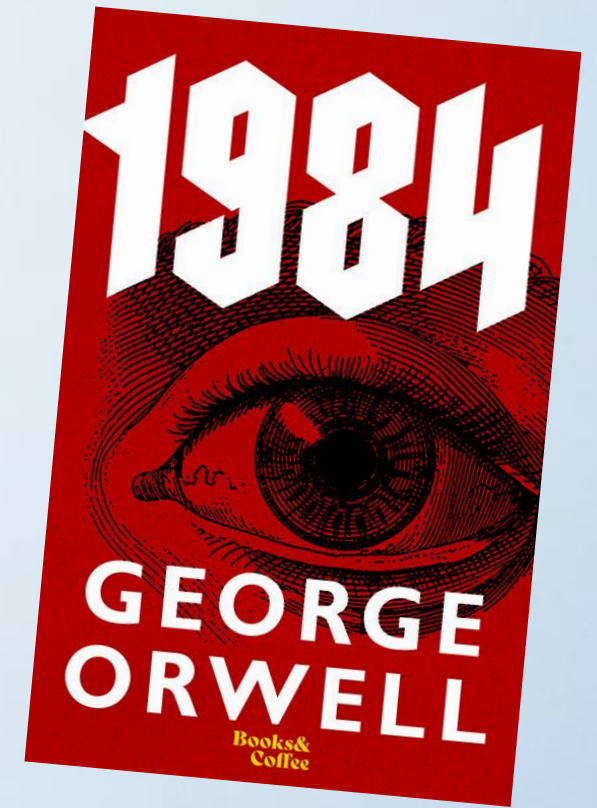
研究発表題材ーイギリス文学ー

George Orwell “*Nineteen Eighty-Four*”

見るのは誰？見られているのは誰？

監視に覆われた世界で生きる主人公は何を見ていたのか。

背後に潜む支配構造を読み解いていきます。



Katherine Mansfield “*Prelude*”

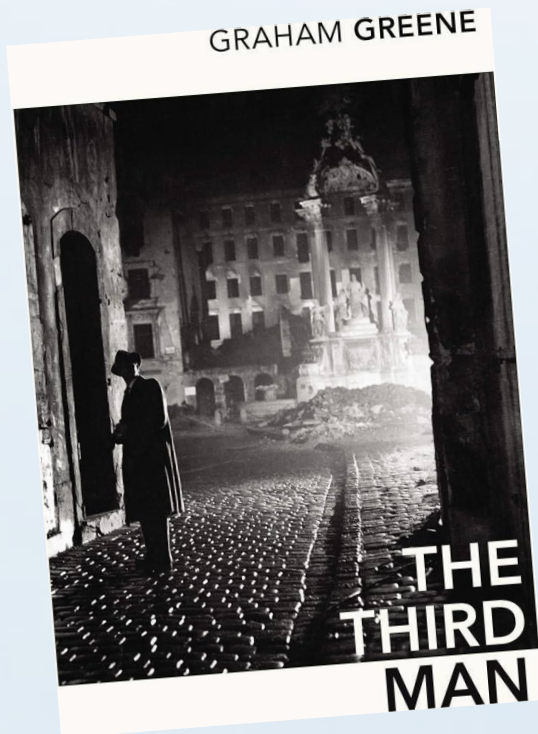
引っ越しというテーマで、マンスフィールドは何を描こうとしたのか？家の描き方、登場人物の言動をもとに探っていきます。

研究発表題材ーイギリス文学ー

William Somerset Maugham “On A Chinese Screen”

旅行愛好家のモームが中国旅行の体験を綴った作品。

モームの多様な感覚を通して空間を描き出す！



Graham Greene “The Third Man”

戦後荒廃したウィーンを舞台に旧友の死の真相を探る。Greeneの描く複雑な二人の関係性に迫る！

研究発表題材一言語学一

Flat Adverbという現象はどのようなものか

英語の世界には、不思議な副詞の現象があるのをご存知ですか？

その名も**Flat Adverb**！

一般的な副詞は **-ly** をつけて用いられますが、これは違います。

なんと形容詞の姿のまま副詞になるのです。

ディズニー映画やSNSでよく見られるこの用法。

この現代的なFlat Adverbの現象を様々な視点で考察していきます。



招待発表・特別講義

英文学シンポジウムでは、大東文化大学の大学院生だけでなく、
修了生や他大学の先生をお招きして、発表とご講演を行っていただいています。
本年度は、以下の方々をご招待させていただきました。

【2025年度 招待発表】

イギリス／ランカスター大学（言語学専攻）修了生

太田 将支さん

【2025年度 特別講義】

東京学芸大学 教授

大田 信良先生



参加申し込みはこちらから



<https://forms.gle/mfiuf8awi5gy79Uq6>



11月8日(土)大東文化大学板橋キャンパスで

お待ちしております！

